

平成 24 年 12 月 20 日

再 質 問 書

横 浜 市 長
林 文 子 様

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会（連協）
会 長 比留間 哲生

先般 11 月 1 日付で「広報よこはま」市版平成 24 年 11 月号に関する質問書を提出したのに対して、11 月 16 日付で早速回答下され有難う御座います。ただ、貴回答の内容は当方の質問に十分答えたものとは到底考えられず、それらの点について納得できる回答を頂きたく以下に再度質問致しますので、速やかに回答下さるようお願い致します。

記

1. 「こんなに近くなります」の記事に関して

当方の質問は、本文記事に「南線が整備されると、横浜都心と中央道八王子 JCT の所要時間は現在の約 2 時間 30 分から約 55 分に短縮されます」とあり、「これらの数値がどのようなデータをもとに出されたものか、各路線毎の所要時間を明らかにして下さい」となっている。これに対して貴回答には国土交通省関東地方整備局事業評価監視委員会（平成 21 年度第 3 回）資料の国道 468 号首都圏中央連絡自動車道（金沢～戸塚）に掲載されたものから引用したとある。これについて以下質問する。

- 1) 引用したとする資料の内容を調べたが、そこには「南線が整備されると、…」という文言は一切見られず、貴回答はなぜこの文言を付加したのか理由を説明されたい。実際、上記資料の作成責任者である関東地方整備局の横浜国道事務所に確認したところ南線が整備されたらの数字ではないと明確な説明があった。
- 2) 南線が整備されると、現在の約 2 時間 30 分から約 55 分に短縮されるという文章をそのまま解釈すれば、南線の整備さえできれば 95 分間短縮されるという意味になる。これは南線建設賛成者を増やすために意図的に事実を曲げた表現にしたと言われても仕方がなく、実際多くの市民が南線の整備で所要時間が 95 分も短縮するのであれば是非その道路を作って欲しいと考えるのは間違いなく、これは明らかに市民を欺くものである。このような不実記載がそのまま放置されることは市の広報活動としてあってはなら

ないことであり、今後の広報よこはま市版を通じて訂正がなされることを強く求める。

2. なぜ西線と言わず西側区間と呼称するのか、について

なぜ西線と言わず西側区間と呼称するかとの質問に対して、横浜環状道路西側区間の路線の名称について現在決定していないためとしている。当方が聞いているのは、路線名が決定していないのはなぜか、その理由についてである。横浜環状道路を構成する南線と北線は夫々延長約 9km なのに対していわゆる西側区間は約 20km と環状道路のほぼ半分を占め、これがないと横浜環状道路そのものは存在しないのである。このように重要な区間が昭和 56 年の「よこはま 21 世紀プラン」で横浜環状道路として位置付けられながら、30 年以上経過した現在路線名すら決定していないというのは異常という外ない。このような状況の中、横浜環状道路と銘うって市民に広報することは市民を欺く背信行為である。このような市民の不信に答えるために横浜市として西側区間を今後横浜環状道路の一環として建設する計画があるのか、それともないのかについて明確に回答されることを求める。

以上